



地域おこし協力隊大橋武司任期満了公演 たけしの挑戦状を開催

大 石田AIR企画「たけしの挑戦状」が5月25日(日)に虹のプラザで行われました。本イベントは、ゲームの「たけしの挑戦状」をモチーフにした、難解で遊び心のあるイベントで、一日のなかでダンス、講演、音楽会など各種イベントが行われ、多くの参加者が訪れました。



町長コラム

「次世代へ虹をかける」

『長嶋さんを偲んで』

皆さんこんにちは。6月3日午前6時39分、ミスタープロ野球「長嶋茂雄」氏が89歳で亡くなりました。巨人で永久欠番となっている背番号「3」、亡くなった日時は3の倍数ばかり、89(やきゅう)の神様に愛された長嶋さんに縁のある数字だなと思いました。

私自身長嶋さんが現役当時のプレーはリアルタイムで観てはいませんが、小学生の頃に初めて買ってもらった野球入門書に出てくる指導者は漫画で描かれた長嶋さんでした。

長嶋さんは昭和という時代を象徴する大スターでありました。高度経済成長期、彼の華麗なプレーは国民の夢と希望を体現し、多くの人がテレビの前で一喜一憂しました。戦後の混乱から立ち上がり、未来を信じて突き進んでいた昭和。

その中で、長嶋さんの姿は「努力

vol.18



大石田町長 庄司 中



町の特産品の自然薯 児童が定植体験

町 内小学校の6年生児童を対象とした自然薯の定植イベントが5月23日(金)に行われ、児童41人が自然薯の植え付けを体験しました。これは、大石田町新作物開発研究会(海藤明会長)の協力で、毎年実施されているものです。

児童たちは、はじめに海藤会長から、自然薯栽培のきっかけや自然薯栽培にかかる思い、定植方法などの説明を聞きました。その後、研究会のメンバーに植え付け指導を受けながら、種芋の植え付けを行いました。

参加した小内源斗さん(南小)は、「植えた自然薯が大きく育って、早くとろろにして食べたいです」と話していました。



生成AIで資料を要約 大石田町DX本部員会議を開催

自 治体DXを推進するため、町では6月から生成AI(人工知能)を活用した新たな取り組みを開始します。

試験導入するのは、Google社が提供する「NotebookLM」の音声概要機能です。これにより、ホームページなどで公開している制度や補助金の内容をAIが音声でわかりやすく要約し、スマートフォンなどで聴くことができるようになります。

文字だけでなく「聞く」という新たな情報の受け取り方が加わることで、より多くの方に行政情報を届けられることを目指します。今後、町のホームページ等で音声データを掲載し、試験的に運用していく予定です。



園児や児童が 伝統的な田植えを体験

町 内保育園の園児や小学校の5年生児童たちが手植えによる田植えを体験しました。

これは、伝統農的農法による米作りを通して、ふるさとの文化や自然に対して理解を深めてもらおうと行われているものです。

この内、大石田南小学校5年生は5月28日(水)に大石田町横山地域農地・水・環境保全組織にご協力いただき、手植えによる田植えを体験しました。児童たちは初めて入る田んぼの感触にはしゃぎながら、泥だらけになって苗を植え付けていました。

参加した高橋亘輝さん(南小)は、「足がとられて大変だったけど、楽しかった。昔の人は全て手作業で植えていてすごいと思いました」と話していました。